

# クルーズ船の受入に関する事務

## 令和元年度実績報告書



令和2年6月

中部広域市町村圏事務組合

# 1. クルーズ船の受入について

## (1) 寄港実績

	R 元年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度
寄港回数	23 回	20 回	22 回	9 回
乗員	16,893 名	16,369 名	16,374 名	5,883 名
乗客	42,083 名	25,830 名	21,492 名	4,603 名
乗員乗客合計	58,976 名	42,199 名	37,866 名	10,486 名

※令和 2 年 2 月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により寄港キャンセルが続いている。

## (2) 受入業務

### 《基本業務》

- 船の状況にあわせて受入レイアウトを調整
- 観光案内所、タクシー乗り場、両替所等の設置
- 通訳者の配置
- 仮設トイレの設置

### 《日本船に対する取組》

- 入出港歓迎イベント等の実施（原則日本船のみ）

7 月 22 日ばしふいっくびいなす寄港の際、美東中学校吹奏楽部によるお見送り演奏を実施し和やかなムードでお見送りができた。また、10 月に同校吹奏楽部に対して船内見学を実施し、学生等にクルーズ船を通して地域経済に触れる機会を創出した。

- 特産品販売（原則日本船のみ）

#### [第 1 回]

令和 2 年 1 月 4 日スペクトラムオブザシーズ寄港時に、港湾内にて特産品販売を行った。（北中城村観光協会からの要望により実施）

出展市町村：北中城村観光協会

販売実績：62,920 円

#### [第 2 回]

令和 2 年 2 月 21 日ばしふいっくびいなす寄港時に、港湾内で特産品販売を行った。

出展市町村：沖縄市観光協会、北中城村観光協会、うるま市（うるまジェラート）

販売実績：71,760 円

≪ 2 次交通の対応 ≫

○無料シャトルバスの運行（スーパースターアクエリアスのみ実施）

中城湾港から拠点地までの無料シャトルバスを運行することで、港内での船客の安全確保及び利便性向上を図った。

拠点地：イオン具志川

運行回数：3 回

利用人数：1,276 人（延べ人数）

○タクシー利用

タクシー乗り場に通訳者を配置し、タクシー行き先調査を行った。

・利用台数 991 台

・利用者数 2,885 名

市町村	主な行先
沖縄市	ハードオフ・泡瀬パヤオ食堂・東南植物楽園・マンガ倉庫・こどもの国・プラザハウス
うるま市	イオン具志川・勝連城跡・はま寿司・ドンキホーテ・海中道路
北谷町	アメリカンヴィレッジ
北中城村	イオンモール沖縄ライカム・中村家・中城城跡
中城村	中城城跡

○ツアーバス（クルーズ船社による公式ツアー）

・バス台数：860 台

・利用者数：約 25,800 名（1 台 30 名とした概算値）

船	周遊先
チャーター船以外	関係 5 市町村の観光施設経由ルートのみ記載。 ・沖縄ワールド⇒アウトレットモールあしびなー⇒ドラッグイレブン泡瀬 ・万座毛⇒道の駅かでな⇒泡瀬パヤオ食堂⇒イオン具志川 ・美ら海水族館⇒イオンモール沖縄ライカム ・琉球村⇒お菓子御殿⇒アメリカンヴィレッジ⇒イオン北谷 ・道の駅かでな⇒アメリカンヴィレッジ⇒バンボッシュ北谷店⇒普天満宮⇒イオンモール沖縄ライカム ・世豊商店⇒国際通り⇒アウトレットモールあしびなー⇒イオンモール沖縄ライカム
チャーター船	・国際通り⇒免税店 ・瀬長島⇒免税店 ・首里城⇒免税店

## ≪国及び県との調整≫

### (1) CIQ の対応

外国から最初に日本国内の港に入港する場合（ファーストポート）および外国に向けて最後に日本国内の港を出港する場合（ラストポート）、税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫（Quarantine）の手続き等に関して、スムーズな手続きとなるよう情報共有を図った。

### (2) SOLAS 条約の対応（国際船舶・港湾保安法）

SOLAS（ソーラス）規定により、バス、タクシー等の立入許可や関係者等の車両入構許可等の取り纏め及び報告等を県に行い、中城湾港内の安全管理を行った。

### (3) 荷役事業者等の岸壁使用調整会議（バース会議）への出席（受入施設機能調整部会） ：23 回参加

### (4) 岸壁利用予約にかかる調整会議

クルーズ船の岸壁利用予約については、以前から予約が重複しており、中城湾港と那覇港のダブルブッキングや平良港や石垣港も含めたトリプルブッキングが生じており、直前に中城湾港の寄港をキャンセルするケースが多い。問題点として、当組合の事務負担増や警備手配キャンセル料等の不要な支出、観光関連事業者を含む関係者のクルーズ船への関心が薄れること等があげられる。その問題である重複予約をなるべく解消するため、県港湾課、中部土木事務所中城湾港分室、那覇港管理組合と調整会議を開催し、情報共有を密にするなど連携強化について話し合った。

## ≪経済波及効果アンケート調査業務≫

- 目 的：(1) クルーズ船で訪れたクルーズ船客（乗務員含む）へアンケート調査を実施し、関係市町村（沖縄市、うるま市、宜野湾市、北谷町、嘉手納町、西原町、読谷村、北中城村、中城村）内での経済効果等を的確に把握する。
- (2) 調査結果に基づき、中城湾港クルーズ船受け入れに関する施策や方向性の基礎資料として活用する。

調査手法：中城湾港に寄港する主要なクルーズ船（中国・台湾等）の船客に対して消費額等のアンケート調査を行う。

委託期間：令和元年 10 月 11 日～令和 2 年 3 月 31 日

事業繰越：主要な中国本土からのクルーズ船が新型コロナウイルス感染症の影響により寄港できなくなったため、調査項目が未完となり次年度へ事業を繰越した。

## ≪その他≫

### ○クルーズ船歓送迎横断幕及びプラカード型パネルサイン制作

現状、中城湾港では看板や横断幕等が無いため、岸壁から船客へお手振りによる歓送迎をしている。県内外の他港では、大きな看板で港の名前をアピールし、横断幕等で歓迎ムードを演出している。中城湾港でも寄港するクルーズ船への歓迎ムード演出のため、横断幕及びプラカード型パネルサインの制作委託を行った。また、歓送迎の文言については、どの国籍の船客にも対応できるよう英語表記とした。なお、制作費は県のおもてなし支援事業助成金を活用した。



## 2. クルーズ船社等への PR 活動及び視察研修等

### (1) クルーズ船社等への PR 活動

#### ① 旅行社への PR 活動（全国クルーズ活性化会議前日に PR）

- ・日 程：令和元年 7 月 18 日（木）
- ・場 所：東京都
- ・PR 先：(株) JTB グローバルマーケティング&トラベル、(株) ミキ・トラベル、(株) エイチ・アイ・エス、コスタクルーズ日本支社
- ・PR 内容：関係市町村観光情報の PR 及びツアー造成依頼

#### ② 平成 31 年度沖縄 MICE プロジェクト「MICE 商談会・意見交換会」

- ・日 程：令和元年 10 月 16 日（水）
- ・場 所：ミュージックタウン音市場 MUSIC HALL
- ・PR 先：タイ・台湾・中国の旅行社等
- ・PR 内容：関係市町村観光情報の PR（東南植物楽園と一緒に参加）

#### ③ HIS 沖縄主催「東南アジア市場商談会」

- ・日 程：令和元年 10 月 31 日（木）

- ・場 所：ロワジールホテル那覇
- ・PR 先：HIS 東南アジア（フィリピン法人・インドネシア法人）
- ・PR 内容：関係市町村観光情報の PR

#### ④沖縄クルーズカンファレンス 2019 商談会

- ・日 程：令和元年 11 月 13 日
- ・場 所：沖縄県産業支援センター
- ・PR 先：郵船クルーズ（株）・日本クルーズ客船（株）・商船三井客船（株）
- ・PR 内容：中城湾港での受入の取組及び関係市町村観光情報の PR

## (2) 視察研修

### ○国内外クルーズ港視察研修・調査事業

目的：国内港に寄港するクルーズ船に乗船し、他港の受入体制及び現地ツアー等を視察し、本事務組合及び関係市町村それぞれの受入体制の具体的な取り組みに繋げることを目標とする。

船名：コスタネオロマンチカ

期間：令和元年 7 月 24 日（水）～28 日（日）4 泊 5 日

航路：舞鶴港⇒金沢港⇒釜山港⇒福岡港⇒舞鶴港

参加者：沖縄市・北谷町・北中城村・中城村各 1 名、クルーズ船戦略アドバイザー 1 名、事務局 2 名（合計 7 名）

## 3. 誘客及びツアー造成について

### (1) 中部広域圏スタンダード観光ルート開発事業

目的：インバウンドの中部広域圏における滞在と消費拡大を促すため、業務委託により、中部広域圏観光ツアーを中国及び台湾から集客し実施することで、中部広域圏のスタンダード観光ルートの開発に繋げる。

期間：平成 31 年 4 月 22 日～令和元年 12 月 31 日

送客実績：大人 1,223 名、こども 93 名

観光ルート：北谷発／那覇発 ⇒ 残波岬 ⇒ 座喜味城跡 ⇒ 道の駅かでな ⇒ 東南植物楽園 ⇒ イオンモール沖縄ライカム ⇒ 北谷解散／那覇解散

### (2) 中部広域圏観光ルート造成事業

目的：クルーズ船客による中部広域圏周遊を促すため、業務委託により、中国及び台湾

に対し関係市町村観光資源の魅力を発信しクルーズ船客向けに複数のツアーを実施することで、持続可能な観光ルートを造成する。

期間：令和元年6月3日～令和元年12月31日

送客実績：大人844名、子ども52名

観光ルート：①中城湾港⇒道の駅かでな⇒東南植物楽園⇒中城城跡⇒イオンモール沖縄ライカム⇒中城湾港

②中城湾港⇒残波岬⇒道の駅かでな⇒東南植物楽園⇒イオンモール沖縄ライカム⇒中城湾港

③那覇港⇒波の上神宮⇒東南植物楽園⇒イオンモール沖縄ライカム⇒那覇港

④那覇港⇒首里城⇒東南植物楽園⇒イオンモール沖縄ライカム⇒那覇港

その他：QRコード読み取りによるアンケートを実施し、アンケートから得られた意見等をまとめ、各観光施設に対し改善策を提案した。また、当事業は平成31年度コミュニティ助成事業助成金を活用して実施した。

### (3) 船社とのツアールート造成

令和2年4月に寄港予定の日本船「ぱしふいっくびいなす」に対し、中部広域圏の周遊を促すため、関係5市町村による中部広域圏観光ツアールートを提案した。各市町村おすすめの観光地等を報告してもらい、6つのツアールートを造成し船社（日本クルーズ客船株式会社）へ提案したところ、下記3つのツアールートが採用された。

○中城城と中村家を訪問する半日観光

○海中道路とぬちまーす工場見学、果報バンタの半日観光

○コザまち歩き・勝連城跡に加え、東南植物楽園、JAちゃんぷる一市場の1日コースしかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により運航キャンセルとなった。

## 4. 地域連携による受入体制の整備について

### (1) 船内見学の実施

実施回数：7回

実施船舶：クアンタムオブザシーズ、ぱしふいっくびいなす、MSC スプレنديダ、コスタベネチア、スペクトラムオブザシーズ、ルラペルーズ

参加人数：約180名

参加者：首長、議長、議員、市町村職員、観光協会職員、民間事業者、学生等

## **(2) 事業者向け中城湾港クルーズ船客受入セミナー**

目的：中部広域圏観光ツアーを実施している旅行社やインバウンド受入を実施している事業者からお話を伺い、中部観光の現状及び課題等を整理し、今後のインバウンドの受入体制の構築について考える。

日時：令和元年10月1日（火）

場所：うるマルシェうるま市民食堂2階会議室

参加人数：9名（5事業者）

登壇者：コーディネーター クルーズ船戦略アドバイザー 吉川 太朗 氏  
パネリスト 大和旅行株式会社 インバウンド事業部課長 楊 凱 氏  
有限会社東南植物楽園 販売接客部長 山形 徳彦 氏  
中部広域市町村圏事務組合 広域連携課長 仲宗根 亨 氏

## **5. 事務局体制について**

### **(1) 嘱託職員の配置**

英語、中国語の専門スキル保持者を採用し、下記の専門的業務に従事した。

- ・クルーズ船寄港時の観光案内、タクシー乗り場の通訳、初寄港記念セレモニー及び船内見学等の通訳業務
- ・クルーズ船社及び旅行社等へのPR活動の通訳・翻訳業務
- ・クルーズカンファレンスや旅行博等におけるPR活動時の通訳・翻訳業務
- ・船社等との業務調整
- ・看板や公文書等の翻訳業務

### **(2) クルーズ船戦略アドバイザーの任命**

クルーズ船受入業務を戦略的かつ効率的に推進することを目的に、前年度に引き続き2名のクルーズ船戦略アドバイザーを委嘱した。

○荻野 利明 氏（イオンモール沖縄ライカム インバウンド特命担当）

○吉川 太朗 氏（株式会社 EM 研究機構）

### **(3) クルーズ船受入事業主要業務の報告及び情報発信について**

クルーズ船受入事業における主要業務の報告及び情報発信のため、令和元年10月より「kuru-kuru クルーズ」という記事を毎月当組合WEBサイトに掲載。



## 6. 課題点等について

- 中城湾港への予約について、日本船以外ほとんどの外国クルーズ船が那覇港を含む他港に入港できない場合の保険として予約している状況がうかがえる。また、予約数の半数以上が那覇又は県内他港へ寄港地変更となり中城湾港の寄港キャンセルが相次いでいるため、港湾管理者である県による対応策が求められる。
- 中部広域圏の周遊を促すためには、魅力を効果的に発信すると同時に、観光施設等のインバウンド受入体制を整備する必要があり、インバウンドに関する情報提供や多言語化等の支援を要する。
- クルーズ船社や旅行社が求める観光施設等は、常時外国人対応可能であり早朝や夜も対応可能であること、さらに40名以上収容可能な施設を求めている。現状受入できる施設が限られることから、市町村毎の偏りが生じてしまう。
- タクシーについて、キャッシュレス非対応車両が多く、また交代時間時の対応、土日祝日に稼働している台数が少ないため、大型クルーズ船の寄港時はタクシー待ちの行列ができることがある。